



宝塚市立すみれが丘小学校
令和5年(2023年)3月16日
学校通信 3月号の2

学校関係者評価の報告について

6年生、卒業おめでとう！！

学校長 紀谷 貴美子

あっという間に3月も中旬となりました。春らしい暖かい日が続いています。間もなく、6年生が卒業です。先日、「6年生を送る会」が行われました。各学級からテントウムシに描いた6年生へのメッセージの壁飾りがあったり、各学年からの出し物があったりしました。

1年生は風揚げなど6年生と遊んだことが楽しかったことを、かわいい声でメッセージを伝え、「小犬のマーチ」の合奏をしました。2年生は、6年生が行った「あいさつ運動」、「平和についての発表」、「音読劇の交流」などへのありがとうのメッセージと「ありがとうの花」の合唱をしました。最後にメッセージを描いた花を花束にして贈りました。3年生は、「もくもく掃除」でピカピカにしていた姿や「お星の放送」、「児童朝会」、「あいさつグランプリ」など、印象に残ったことを伝え、「ジャンボリーミッキー」のダンスを元気に踊りました。4年生は、学校生活1年生から6年生まで、6年間の振り返りの寸劇をグループごとに力いっぱい発表しました。5年生は、「マイバラード」の2部合唱をして、「6年生の姿をしっかりと引き継ぎます。」という熱いメッセージを送っていました。

最後に6年生から各学年に向けて『大阪弁』で、1年間交流して良かったところや印象に残ったところの紹介がありました。そのあと、6年全体で、各学年に向けての感謝の気持ちを込めた呼びかけや「絆」の歌がありました。6年生からの「何事にも全力で取り組むことの大切さ、力を合わせることの大切さ」のメッセージが全校の児童に届いたと思います。送る側も送られる側も相手を思いやり、相手のために一生懸命に尽くしている姿が素晴らしいと感じました。すみれが丘小学校の児童はさすがだと改めて思いました。

そして、圧倒的に存在感のある頼もしい6年生も数日後には卒業です。さらなる飛躍に向けて、巣立って行って欲しいと思います。



保護者の皆様には、お忙しい中、「学校アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。保護者アンケートについては、63%の回答をいただきました。また、同時期、児童にもアンケートを実施しました。その結果をグラフにまとめています。(別紙参照)それぞれの観点で子どもたちが、どのように成長してきたかを明らかにして、よりよい学校生活・家庭生活を送るために活かしていきます。

また、「学校アンケート」と「学校の自己評価」の結果をもとに、2月28日、学校運営協議会にて、委員15名で「学校関係者評価」を行いました。

「学校関係者評価」の項目ごとの達成状況(A:優れている B:良い C:おおむね良好 D:要改善)及び主な意見を報告します。

◆開かれた学校づくり・・・A

- ・コロナが一段落し、色々な行事に参加できた。参観日の保護者の参加者が多くてよかった。
- ・地域のコミュニティーすみれの方々積極的に行事に参加していただいたため評価はAだと思う。
- ・昔遊びの時、すねて泣いてしまう子がいた。周りの子がフォローしあってよかった。
- ・火起こしの時も、目がキラキラしていて忘れ物もなく家庭のフォローを感じた。
- ・子どもたちから常にありがとうの言葉や気持ちをいただき、地域としてもやりがいがある。
- ・街を歩いても「こんにちは」と声をかけてくれてうれしい。
- ・見守りは、高齢化してきている。保護者参加で若返りも望むが、高齢ならではのよさもある。

◆危機管理体制の整備・・・A

- ・学校独自で判断できるのであれば、雪の日など登校を遅らすのはよい。
- ・雪の場合の迂回路は、日陰は凍結していて危険なため、安全な道でいけるように地域も考えたり、見守りをしたりする。

◆自ら学び自ら考える力の育成・・・B

- ・自主的に宿題に取り組むのはなかなか難しい。
- ・参観日に発表している姿を見て、発表に慣れていると思った。ぜひ、このような指導を続けてほしい。
- ・塾の宿題に追われている子が多い。学校の授業がいちばん大事ではないか。
- ・基礎が大切。寺子屋や英語クラブの活用をしてほしい。

◆基礎基本の定着と個に応じた学習指導の徹底・・・A

- ・児童のスマホゲームが増えている。家庭での学習が減っているのでは。
- ・家庭での会話が減っている。スマホの使い方は家庭で約束を決めるとよい。子どもには段階的に使用をさせるとよい。フィルターは必ずかける必要があると思う。
- ・小さい子の子守りにスマホが使われている。親も正しい使い方を認識する必要がある。

◆生活指導の推進・・・B

- ・ミマモルメで、「一人で悩まないで」との配信がある。親にも話せない、先生にも話せない子どもが一人で悩んでいることがないように気づいてあげたい。子どもたちに声かけをしてほしい。

◆人権教育の推進・・・A

- ・12月にすみれ小4年生に地域包括センターから「認知症」についての学習を行ったが、しっかり学習でき、認知症について理解が深まっている様子であった。

◆特別支援教育の推進・・・A

- ・支援級に対する偏見は、今なお見受けられる。世間体を気にしたり、支援級に入ると、学習が余計に遅れたりするのはないかと心配して入級できない保護者もいる。
- ・子どもにとって何が一番ベストな選択なのかをアドバイスできるとよい。長くじっくりかかわる必要がある。

◆教育機器の活用・・・A

- ・タブレット研修を地域でも考えている。
- ・タブレットは答えがすぐに見れるので、答えを早く知りたがる。
- ・思考する力、発信する力の育成を。
- ・「学校でこういう風にタブレットを学んでいます」といったことを知りたい。

◆施設・設備の管理・・・C

- ・地域で使用した時に気になったのは、体育館の雨漏りである。
- ・子どもや先生がけがをしないように、早めに対応してほしい。

貴重なご意見ありがとうございました。保護者や地域の皆様のご意見や評価をしっかりと受け止め、教育活動に活かしてまいりたいと考えていますので、今後ともご理解、ご支援よろしくお願いたします。